

○ 重伝建推進委員会 (6月27日)

①重伝建選定祝賀事業の企画案について

祝賀事業実行委員会の企画案を検討し、有松桶狭間観光振興協議会に連絡しました。

○コンセプト 「藍のまち 有松」 (重伝建選定後の標語案)

○10月1日(土) 祝賀行事

- ・昼の部：小学生の絞り体験発表、中学生のブラスバンド、サークル発表など (絞会館駐車場)
- ・夜の部：三河万才、日本舞踊、一人語り、提灯行列など (祇園寺本堂と一里塚～松野根橋)

○10月2日(日) 記念式典・シンポジウムの開催

- ・児童による合唱、基調講演、パネルディスカッションなど (名古屋市主催、小学校体育館)
- ・記念植樹 (ありまつ公園)

終了後、有松山車まつりの囃子込み・山車曳きなど夜祭りを見学

○その他

- ・文化財に指定されている建物のライトアップ (8ヶ所)
- ・絞りによる大のれん
- ・記念誌の発行
- ・リーフレットの発行

○ 有松桶狭間観光振興協議会 (6月28日)

名古屋市観光推進室、歴まち室、緑区役所出席のもと開かれ、地元要望が出されました。

市側は要望について、支援は大変難しい点もあるが持ち帰り検討することになりました。

①観光施設の要望について

- 観光推進室から要請があった「まちかど案内所」の候補として、旧山田薬局を推薦しました。
- 観光施設の充実として、絞会館・古戦場公園トイレの改修など
- 西の一里塚横の空き地、東の大将ヶ根交差点脇の空き地の観光客用駐車場への活用。

②一般要望事項について

- 重伝建選定祝賀事業企画案を提案しました。
- 中町交差点西南空地の活用：「重伝建のまち有松」の看板設置、常夜燈の移設など

○ 有松まちづくりの会 (6月27日)

①ホームページ「有松のまち」について (広報部)

1) 英文掲載完了

「有松の誕生」「町屋の紹介」「有松のお店」について、英文の掲載が完了しました。

2) 重伝建選定説明文の掲載

「まちの紹介」内に「重伝建のまち 有松」の項を新設し、掲載します。

今年のタイトルを『その手はククル、未来をツクル』とし、今を大切に対峙し、未来をその手で掴み取ろうとの思いで開催されました。

来場者は、4日(土):40,000人、5日(日):40,000人でした。

○東の絞り回廊

脈々と受け継がれてきた絞り技法の後継者達が、東の有松東海道で「くくり」を披露していました。

この後継者は、愛知県絞工業組合が開設している「絞り技術者育成講座」で、伝統工芸士の直接指導による本格的絞り技術を学んでいる生徒さん達です。

この講座は、「絞りLab」で開かれており、育成期間は5年間です。現在数十の方が学んでおり、既に卒業生は11名にもなりました。



絞り後継者皆さんの学習発表

○イオンタウン有松駅前ひろばも参加



キッチンカー6台と恐竜コーナーおよびステージが設けられ、絞りまつりを盛り上げていました。

○休憩所の設置

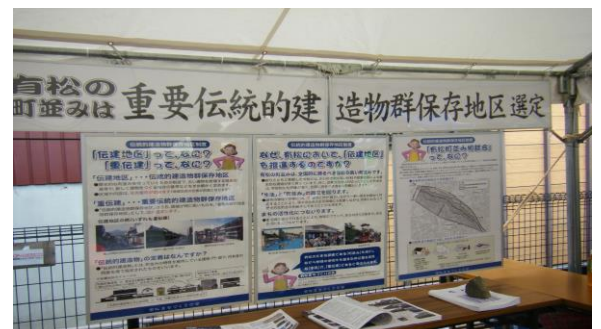


山と遊歩道に長いすが置かれ、休憩所となっていました。

○有松の町並みが「重要伝統的建造物群保存地区」に選定されたのをPR



絞会館2階に取り付けられた横断幕



有松観光振興コーナーでの説明パネル

○ツアーの開催

- ・有松町並みツアー：有松あないびとの会の案内で有松東海道のみならず長坂道も歩き、有松の誕生や文化財の建物などの説明を受けながら1時間ほど歩きました。ツアー終了後には今年の「有松よもやまばなし」第19号が贈呈されました。

ツアーは、両日各6回開催され、参加者は37グループ、582名でした。

- ・信長路史跡ツアー：有松→釜ヶ谷→おけはざま山→古戦場公園→七ツ塚→高根山→有松の順路でツアーが行われ、「桶狭間史跡マップ」を片手に、ガイドの説明を聞きながら信長路を歩きました。ツアーは、両日各1回開催され、参加者は6グループ、69名でした。

○ 「桶狭間の戦い」再現イベント開かれる（6月12日、観光推進室） P-3

名古屋市南部有松・桶狭間の観光情報発信事業の第1弾として、日本史上名高い「桶狭間の戦い」の再現イベントが名古屋市主催で行なわれました。

第1幕 信長公 清州城出陣 04:00～

信長公 敦盛を舞い、湯漬けをかき込み、馬での出陣

第2幕 信長公 戦勝祈願 08:00～

途中にある熱田神宮に立ち寄り、戦勝を祈願

第3幕 桶狭間の戦い 13:00～

戦略的奇襲で義元を討ち取り、勝鬨

<桶狭間でのイベント>

- ・各地から参集の武者隊が長福寺から古戦場公園まで行軍しました。
- ・田楽坪（古戦場公園）で織田軍の服部子平太と毛利新介が、義元を討ち取りました。
- ・クリスグレン氏、明智憲三郎氏、武将隊信長公3氏による「桶狭間」トークが行われました。



行軍の先頭を行く河村たかし氏（中央）と梶野泉氏（右端）

○ 荒川叶江さん 瑞宝単光章 受章祝賀会開催（6月11日）

春の叙勲を受けた荒川叶江さんの瑞宝単光章受章祝賀会が開催されました。

荒川さん（86）は子どもの頃から絞りを覚え、1997年「柰目絞り」の括り伝統工芸士に認定され、現在絞りLabで後継者の育成に尽力されています。

愛知県絞工業組合理事長の竹田嘉兵衛さんは、祝辞で、荒川さんの縫い絞りをを行う時の狂いのない針運びを見て、神の手を持つ方だと、話されました。

最後に荒川さんが『今後も伝統工芸功労者の名に恥じることなく、好きな絞りを続けていきたい』と話されました。



謝辞を述べる授章者の荒川さん

○ 有松あないびとの会 研修旅行記（関ヶ原・大垣）（6月21日）

当日、9時出発時には、天気予報通り土砂降りでしたが、車中名神一宮インター付近から、Sさんの軽妙な仕切りの「脳トレクイズ」に全員が興じている間には雨も上がりました。関ヶ原石田三成陣地前でのガイド先達のAさんによる自主研究発表の時には快晴となり、水田の稲が青々と風を受け、気持ちの良い旅となり、あないびとの会会員の強い晴れ信念を感じました。

松並木が残る中山道の垂井・赤坂宿を車窓から耳と目で学習、芭蕉「奥の細道むすびの地」大垣に着き、「玉子屋」の美味しい昼食を頂き、水門川をたどって大垣城天守閣前でYさんの丁寧な研究成果を聞き、今後ガイドする時のお手本としたいと思います。

最後に帰宅して頂いた水都大垣名物「水まんじゅう」も美味でした。



日差しの強い中でAさんの発表を聞く

○ 有松青パト 新車に替わる

有松学区の「安心安全まちづくり活動」のシンボルともなっている“青色回転灯自主防犯パトロール車（青灯パト車）”が実働10年（パトロール走行15万3千キロ）の役目を終えて、6月25日から新車に替わりました。

有松学区の「青灯パト活動」は、日曜・祝日も休まず、午前・午後・夜間の毎日3回の学区内巡回を続けてきています。新しい青灯パト車には、これまでの装備に加えて「ドライブレコーダー」が装備され、犯罪防止に大きな威力を発揮するものと期待されています。



新車の「青灯パト車」

○ 山田時計店 店を閉める

6月末、山田時計店が閉店しました。店主の山田国美さんは、昭和30年に旧山田薬局の前にあった山田時計店を継ぎ、昭和44年天王坂通りの現在地にビルを建て、移りました。その折、地元の時計店なら町内に時報を告げようと思い、真空管のアンプの製作を近くの小瀬木さんに依頼し、チャイムを取り付け、朝の7時から夜の10時までほぼ1時間ごとに鳴らしてきました。

閉店に際し、店主の山田さんは『高齢になり、商売を続けるには大変で、店を閉めることにしました。長年商売を続けられたのは皆様のお蔭と感謝しています。』と話していました。

なお、チャイムは、閉店後もそのまま鳴らし続けるとのことでした。



チャイムを鳴らす鉄琴

○ 催事・行事の予定

- ・7月02日（土） 10:00 愛知建築士会 有松見学 竹田邸
- ・7月03日（日） 09:00 有松東海道青空市 有松商工会周り
- " 13:30 名古屋親子いけばな教室① コミセン 広瀬典丈
- " 14:00 有松絞り講演会（服部豊、竹田嘉兵衛、成田治）ルブラ山王
- ・7月07日（木） 13:00 第40回 全国町並みゼミ名古屋市・有松大会 打ち合わせ コミセン
- ・7月17日（日） 09:00 有松東海道青空市 有松商工会周り
- " 13:30 名古屋親子いけばな教室② コミセン 広瀬典丈
- ・7月18日（月） 18:00 有松町並み相談会 コミセン
- ・7月24日（日） 07:30 かえで道の清掃 有松まちづくりの会
- ・7月25日（月） 18:00 重伝建推進委員会 コミセン 有松まちづくりの会
- " 19:00 有松まちづくりの会役員会 コミセン
- ・7月26日（火） 18:00 有松桶狭間観光振興協議会役員会 絞会館
- ・7月31日（日） 13:30 名古屋親子いけばな教室③ コミセン 広瀬典丈

発行者：竹田嘉兵衛（有松まちづくりの会 副会長）

編集者：加藤 一成（有松まちづくりの会 広報部員）

T・F 052-623-1676 090-4163-2671 E-mail katoisse@mc.ccnw.ne.jp

：有松まちづくりの会ホームページ

有松のまち

検索